

## イベント「復幸縁日」開催!

ご来場ありがとうございました

秋晴れの10月27日(日)エル・パーク仙台ギャラリーホールにて、『ふぁみりー復幸縁日』を開催しました。宮城県知事選挙や全国女子駅伝とイベントが目白押しの日曜日。会場になったエル・パーク仙台周辺は、交通規制されましたが約100組の家族がご参加くださいました。



ギャラリーホール入口から入ると、石巻・河北地区の仮設住宅で作成された「つるしびな」の華やかな姿がすぐに目の前に飛び込んできます。受付を担当してくれたのは、学生ボランティアさん3名です。来場者の方にパンフレットの配布やアンケートへの協力をお願いを一生懸命していただきました。ありがとうございました。そして、アンケート回収箱の横には、アンケートにご協力いただいた方に差し上げたハインツ日本(株)様の「逆さケチャップ」が置いてありました。このケチャップは「売り上げの1パーセントが被災地支援に寄付」されます。(2014.5月末まで)

【手仕事体験ブース】では「デコパージュ石鹸作り」と「ピースストラップ作り」を100円で体験できました。小さなお子さんから大人まで、楽しそうに参加されていました。

【見て】は東日本大震災の復興支援活動を行っている企業・団体の活動を紹介する展示コーナーです。ご協力いただいたのは、ハインツ日本(株)様、(株)ラッシュジャパン様、(株)ウジエスーパー様、一般社団法人カーシェアリング協会様、ベルマーク教育助成財団様、西公園プレーパークの会様です。ご来場いただいた方が、展示されたパネルの前で足を止め、活動の内容を興味深くご覧になっていらっしゃいました。それぞれの生活スタイルを変えることなく息の長い復興支援を続けて行けたら……それは大きな支援になると思います。

【聞いて】は、防災セミナーや非常食の実演&試食を体験できました。自宅にあるもので非常時でも美味しくできる食事のレシピは目から鱗でした。2歳の娘さんの子育てしながら、防災士として活動されている講師の方の話は、ママ目線の防災・減災に役立つ情報が多く「子どもを守るため」の方法

## とり戻しつつある光景 —ヨシ刈り—

北上川河川敷で行われるヨシ刈りは石巻の冬の風物詩。三輪田地区のヨシ原は春の火入れ、風にそよぐ夏の若葉と水鳥のハーモニー、黄金に輝く秋、と四季折々に趣を変え、「残したい日本の音百選」に選ばれています。茅葺き屋根に欠かせないヨシですが、北上川の海水と真水が入り交る汽水域に恵まれたこの地区の物は、硬くて丈夫と品質の良さで有名。ヨシ原は人の手を加える(刈り取り、火入れ)ことによって維持される生態系。しかし、震災時の地盤沈下の影響で、ヨシ原は以前の3分の1にまで減り、ヨシ刈りを行っていた地元の人も被災して、貴重なヨシ原の保全・保存が危ぶまれていました。現在は、2013年度から地元の熊谷産業による本格的なヨシ刈りが再開し、復元が期待されています。

ヨシ刈りは12月下旬～3月下旬に行われる(2014年2月撮影)

やママバックに入れておくと役立つものリストなどすぐにでも、できる内容でした。読み聞かせ絵本「リオン」は防災士でもありアナウンサーの黒田典子さんが読んで下さいました。園児でも理解できる内容です。「ご依頼があれば、保育園や幼稚園にも出張で伺います」とのこと。詳しくは「特定非営利活動法人 防災士 ミヤギ」まで、お問合せください。

【チャリティーコーナー】では、有限会社クワンこしえる工房add様、若草リボン基金様、浜のおばちゃん、などに出店していただき「防災手ぬぐい」「若草リボンパッチ」「美味しい海苔・ふりかけ」などを購入いただきました。

また、【癒しのコーナー】では、公益社団法人 日本アロマ環境協会様のご協力により「ハンドトリートメント」が行われました。来場者だけではなくブース出展者やスタッフにも「癒しの時間」を提供してくださいました。素敵なアロマの香りのお蔭か?最後は参加したスタッフ同志での会話が弾み、和やかな空気に変わりました。この日のイベントのために、公益社団法人 日本アロマ環境協会様のボランティアさんが南は沖縄、北は北海道から総勢37名も集まってくださいました。

当日は天気にも恵まれ、事故もなく無事にイベントを終えることができたこと感謝しております。沢山の企業・団体様にご協力いただき誠にありがとうございました。\*このイベントは、特定非営利活動法人せんだいファミリーサポート・ネットワークの「ママのチャレンジ☆マネー助成金」を活用しました。

## ベルマーク 3264枚 送付

ご協力ありがとうございました

ままふあ会では仙台市子育てふれあいプラザのびすく仙台に募集箱を設置してベルマークを集めています。2014年3月にベルマーク教育助成財団へ送付した枚数は計3264枚になりました。ご協力に心からの感謝を申し上げます。ままふあ会が集めたマークはベルマーク財団へ「大震災寄贈マーク」として送っており、そこで被災地のベルマーク運動参加校に振り分けられています。また全国のPTA等がベルマークで購入した金額のうち1割相当の金額も、寄付金としてベルマーク財団に割り戻され被災校などの援助事業に充てられています。2011年、2012年は、延べ489校に教材・設備品が贈られており、2013年度は東北三県の184校を対象に5050万円相当が支援されました。

※集められたベルマークは直接送付もできます。

送付先  
〒104-0045 東京都中央区築地5-4-18  
ベルマーク教育助成財団「大震災寄贈マーク」係  
電話 03-5148-7255

### ネットショッピングで被災校支援

「ウェブベルマーク」サイトで会員登録し、ポータルサイトを經由して協賛企業のオンラインショップでお買い物をする、購入額に応じた支援金が協賛企業からベルマーク財団に支払われ、東北被災地の学校支援に使われます。お買い物をした人には支援金の負担は生じません。

### <ウェブベルマーク支援協賛企業一覧>

味の素/エプソン販売/キヤノンマーケティングジャパン/グリー/新日本製薬/Z会/テレビ朝日/ドゥクラッセ/ベネッセホールディングス/ヤフー/ユーキャン/楽天/リクルート/ロッテ/朝日新聞社 (2014年2月末現在)

### 使い方の例:

「楽天」>楽天市場>ショップのカテゴリ検索  
ショップ選択>お買い物  
ショップごとに購入金額の何%が支援金となるか決められています。  
「ヤフー」では、ショッピング、トラベル、ヤフオクなどが対象です。  
ふだんのお買い物や、プレゼント、ホテルの予約など特別な時にもウェブベルマークサイトを使っていただけたら幸いです。

ウェブベルマーク⇒[www.webbellmark.jp](http://www.webbellmark.jp)

## WEB検索は「KDDI キボウのカケラ」 キボウのカケラ(クリック募金)

KDDI

1円/クリック1回  
(1日1回)

**♡ 寄付**

Webサイト上をクリックするとKDDIが1クリックにつき1円を寄付

皆のやさしい気持ちのカケラがたくさん集まるとキボウが変わる。そんな思いを込めたKDDIの支援プログラム。賛同するプログラムの画面をクリック。そこから生まれた“キボウのカケラ”に応じ、KDDIがNPO団体などに寄付。経済的負担がなく、気軽に募金ができる。

東日本大震災 被災地の子どもたちに明るい未来を <ハタチ基金> 0~20歳の被災孤児、被災地の子どもたちに、子どもたちの成長に合わせたサポートをする、様々な支援実施団体へ寄付。  
寄付先: NPOカタリバ、一般社団法人チャンス・フォー・チルドレン、NPO法人トイボックス、NPO法人フローレンス

4月8日よりKDDI社会貢献サイト「キボウのカケハシ」がオープンしました!「キボウのカケハシ」は、社会に役立つ活動を行う人たちと、その活動を応援したい人たちをつなぐWEBサイトです。URL: <http://kakehashi.kddi.com/>

## WEB検索は「夢を応援基金」 「ローソントモダチ」 「元気になろう!日本」プロジェクト

ローソン

1口 /1,10,100,1000,10000Ponta ポイントで募金可能(1Pontaポイント1円換算)  
店頭でも募金受付中

**♡ 寄付**

夢を応援基金  
TOMODACHI募金

「夢を応援基金」(東日本大震災奨学金制度) 経済的な理由で就学が困難な学生に月3万円の奨学金を支給、社会人となるまで最長7年間支援を続ける。(返還不要)  
寄付先: 公益社団法人 Civic Force

「TOMODACHI 募金」(東北学生教育・日米交流支援) 東北地方の学生を対象に、日米の教育・文化交流等を通じて、次世代のリーダーの育成を目指すもの。  
寄付先: 公益財団法人米日カウンシル-ジャパン

【募金方法】店頭募金や、Pontaポイントから店頭のLoppiの端末を使った寄付、ローソンメール会員はオンラインでも寄付が可能。

## WEB 検索は「びつきこども基金」 食して復興支援

(株)ウジエスーパー

シール商品の売り上げ金額の一部を寄付。このシールが見印。

**♡ 寄付**

びつきこども基金

【販売店舗】イオンリテール、マックスバリュ南東北(ザピック)、仙台物産、やまや、西友

## WEB検索は「ぼんずプロジェクト」 ぼんずプロジェクト

大船渡ぼんず商店街

ぼんず絵ハガキ 文化財編 (3枚セット) 500円(税込)

**♡ 寄付**

売上の10%を大船渡市に寄付  
\*情景編/方言はがき編(各3枚セット)もあり

「ぼんず」とは、絆の英語bondsを気仙沼弁風に変音してみた造語。大船渡と全国の皆さんとのぼんず(絆)が深まることを願って付けられた。津波で倒された大船渡の被災松を使った紙製品を加工し、復興支援品として、売上の10%を大船渡市に寄付する。

ぼんずハガキ(無地)は木の風合いと香りを生かしたものの。インクジェット加工済なので、自宅のプリンターで印刷もできる。  
方言ハガキは大船渡の方言(気仙語)入り。しおりは大船渡のシンボル「つばき」と「海産物」をモチーフにデザイン。

## WEB検索は「チートス」「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」 チャリティーキャンペーン

ジャパンフリトレー

店頭価格

**♡ 寄付**

売り上げの一部を公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンに寄付

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンは、震災直後から、被災地の子どもたち保護とケアを最優先に支援活動を開始。現在は被災地の子どもたちが地域の復興に対して意見を表明し参加できることを目標に復興支援活動を続けている。  
【主な活動内容】“子どもの保護”、“教育”、“子どもにやさしい地域作り”、“コミュニティ・イニシアチブ”、“防災(災害リスク軽減)”、“福島”

【対象商品】ジャパンフリトレー全商品  
商品例: チートス(コクのあるチーズ味・旨だれバーベキュー味)、ドリトス(ナチョ・チーズ味・タコス味)、マイクポップコーン(バターしょうゆ味)たこやき亭(こだわりのソース味)など

## WEB 検索は「ハインツ」 オレアイダ スーパークリスピー

ハインツ日本(株)

店頭価格

**♡ 寄付**

売り上げの1%を寄付  
2014年12月出荷分まで

【販売店舗】イオンリテール、マックスバリュ南東北(ザピック)、仙台物産、やまや、西友

## WEB検索は「5のつく日 JCB」 「5」のつく日。JCBで復興支援 第4弾

JCB

1円/指定日に利用1回

**♡ 寄付**

JCBカードの利用1回につき1円を支援金としてJCBが拠出

JCBでは、被災地の復興支援のため、期間限定で、「5」のつく日。JCBで復興支援を2014年2~5月の計12日間にわたり実施する。この試みは2011年8~10月、2012年2~4月、2013年3~5月の計3回実施され、累計約1億2,600万円を拠出してきた。公益社団法人日本フィナンソロピー協会を通じて、NPO法人など被災地域の計37団体に寄付。被災者の自立支援やコミュニティ再生、子どもの健全育成、地域文化や産業の振興などの目的に利用されている。

【今後の実施日】5月5日(月・祝)・15日(木)・25日(日)

## WEB検索は「ぼうさいぬぐい.com」 防災拭い

(有)クワン こしえる工房add

義援金付き  
防災拭い防災グッズ  
編、地震編、津波編  
(Size/ 約36cm×100cm)  
各1,080円(税込)

**♡ 寄付**

日本赤十字社、他

「防災拭い(ぼうさいぬぐい)」は「災害を防ぐ」という意味と、日本古来の「手拭い」をかけた造語。かわいい“ずきんちゃん”のイラストとともに、緊急時に必要な情報がコンパクトにまとめられている。

◇特徴  
・災害に備えておく物や、災害時に落ち着いて対応する手順をわかりやすくイラストで紹介  
・災害時の公共サービスなどを記載  
・通常の手ぬぐいより10cm長いので、三角巾にもなるすぐれもの。

## WEB 検索は「釜石ラスク」 釜石ラスク (釜石限定)

(株)グランバー東京ラスク

435円(税込)  
(5袋10枚入り)  
ごま/シュガーバター/ほたて味

**♡ 寄付**

釜石市へ売り上げ1%を寄付

【販売店舗】かまいし特産(シープラザ釜石:JR釜石駅近く)釜石ラスク野田店(最寄り駅:釜石市JR小佐野駅)